

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	3	106	頁

目名
会計管理費

事業名称
会計管理事業

1. 概要

目的	公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う	対象	市民・業者・職員等
事業概要	○会計管理事業 →歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) 支払に伴う伝票審査 基金の管理・運用 決算の調製 窓口収納業務 経理事務説明会の実施 公金管理運用検討委員会の開催		

臨/経	細事業名称	事業内容 (主な経費等)		前年度決算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
							国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	会計管理事業	歳計及び歳計外現金 の出納・保管等	役務費	2,175	1,405	1,259				1,259	3
計				2,175	1,405	1,259				1,259	

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正かつ迅速な事務処理	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			①支払事務を迅速に行うためには、正確な経理事務を行う必要がある ②公金の適正管理、運用を行うため			
活動指標	指標	a 経理事務説明会の実施	b 公金管理運営委員会の開催	c				
	数値	目標 年2回(H23~)	目標 年2回	目標	目標			

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
適正かつ迅速な事務処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 経理事務説明会の実施	回	1 回	2 回	1 回
		50.0 %	100.0 %	50.0 %
b 公金管理運営委員会の開催	回	2 回	2 回	1 回
		100.0 %	100.0 %	50.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
財務会計システム等の周知・徹底に努めているものの、経理事務に不備が生じるケースがある。
対応（改善点等）
一般職及び管理・監督職を対象とした説明会を実施すると共に庁内ネットワークを利用し、経理事務の周知・徹底を図る。また、公金の取扱及び事務処理について指導、検査を行う。

5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
		1,577	2,175	1,259	20,258
うち経常経費		1,577	1,019	1,259	1,192
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他				
	一般財源	1,577	2,175	1,259	20,258
うち経常		1,577	1,019	1,259	1,192

6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
会計事務処理に必要な事務費である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 必要不可欠な事業である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	2 更に公金出納事務の適正化に努める必要がある

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き公金の適正管理に努めること。